【4級・解説】

リスニング

PARTE I (N 1 – N 4)

N 1　c　【正答率】87.7%

F1: Il Capodanno? Da bambina mi piaceva molto passarlo con tutti i parenti. Adesso, però, preferisco andare con mio marito a sciare. Amiamo tutti e due la montagna e per noi la settimana bianca ormai è un'abitudine.

【訳】(女 1)元旦？ 私は子供の頃はそれを親戚みんなと一緒に過ごすのが大好きだったわ。でも今は、私の夫と一緒にスキーに行く方を好むの。私たちは 2 人共山が大好きだし、私たちにとって 1 週間のスキー休暇はもはや習慣よ。

N 2　d　【正答率】87.0%

M1: Io il primo dell'anno lo passo sempre a casa, con mia moglie e i bambini. Non ci piace la confusione. Prepariamo cose buone da mangiare e, dopo il cenone, aspettiamo insieme la mezzanotte giocando a carte, a tombola…

【訳】(男1)僕は年始をいつも家で、僕の妻や子供たちと一緒に過ごす。僕らは大騒ぎは好きじゃないんだ。おいしい食べ物を用意して、大晦日の夕食の後、カードゲームやトンボラ(ビンゴに似たゲーム)で遊びながら一緒に午前零時を待つんだ……。

N 3　b　【正答率】89.7%

M2: Beh, io adesso vivo da solo, i miei abitano lontano e durante le vacanze invernali ho pochissimi giorni di ferie. Di solito la notte dell'ultimo dell'anno la passo con la mia ragazza. Ceniamo in qualche ristorante e poi andiamo a ballare.

【訳】(男2)そうだねえ、僕は今独り暮らしで、僕の両親は遠くに住んでいるし、冬期休暇中僕はほんの少ししか休日がない。僕はたいてい大晦日の夜は僕の彼女と一緒に過ごすよ。僕たちはどこかのレストランで夕食を取って、それから踊りに行くんだ。

N 4　a　　【正答率】81.8%

F2: Noi siamo pensionati. Abitiamo da soli in un piccolo paese. Per le feste vengono a trovarci i nostri due figli, con le loro famiglie. Restano qualche giorno qui da noi, la casa è grande… È bello passare Natale e Capodanno tutti insieme, con i nostri nipotini…

【訳】(女2)私たちは年金生活者よ。小さな村に自分たちだけで暮らしているわ。祝日には、私たちの2人の子供が、彼らの家族と一緒に私たちに会いに来てくれるの。彼らは数日間この私たちの家にとどまるの、家は広いもの……。クリスマスと新年をみんな揃って、私たちの孫たちと一緒に過ごすのはいいものよ……。

PARTE III (N 9 – N 12)

N 9　c　　【正答率】24.5%

M1: Dai, passa! Passala a me! Se non la vuoi passare, almeno tira. Tira! Bravo! Così!! Accidenti, c'era quasi…

M2: Niente da fare, il loro portiere è troppo forte.

M1: Dai, ragazzi, coraggio! Mancano ancora venti minuti prima della fine. Dobbiamo segnare! E tu, Gianni, quando ti dico 'passa', passamela, no?

M3: Hai ragione, scusa!

M1: Su, forza, dobbiamo fare goal!

DOMANDA: Qual è la situazione?

【訳】(男1)さあ、パスしろ！　俺にボールをパスしろ！　パスしたくなければ、せめてシュートしろ。シュートだ！　いいぞ！　そうだ!! なんてことだ、あとちょっとだったのに……。(男2)どうしようもないよ、相手のゴールキーパーは上手すぎる。(男1)さあ、みんな、元気を出そう！　終了までまだ20分ある。俺たちはゴールしなくちゃ！　それからお前、ジャンニ、俺がお前に「パスしろ」と言ったら、俺にパスしろよな、いいか？(男3)そうだな、ごめん！　　(男1)さあ、頑張ろう、俺たちはゴールを決めなきゃ！

(問)どれがこの状況ですか？

N 10　a　　【正答率】88.1%
M: Mi scusi, c'è un ufficio postale qui vicino?
F: Dunque… sì, ce n'è uno in via Boccoleri.
M: Ed è lontano da qui?
F: No, no, a piedi saranno cinque minuti. Lei prende questa strada e arriva a una piazzetta. Prende la prima strada sulla destra, continua fino al primo incrocio e lì gira a sinistra: quella è via Boccoleri. L'ufficio postale è lì, sulla sinistra. Lo vede subito, non può sbagliare.
M: Grazie mille!
DOMANDA: Dov'è l'ufficio postale?
【訳】(男)すみません、この近くに郵便局はありますか？(女)ええと……はい、ボッコレーリ通りに1つあります。(男)ここから遠いですか？(女)いえいえ、徒歩で5分くらいでしょう。この道を進むと小さな広場に着きます。右手の最初の道に入って、そのまま最初の交差点まで進み、そこで左に曲がるんです。それがボッコレーリ通りです。郵便局はそこに、左手のそこにあります。すぐにそれが目に入りますよ、間違えようがありません。(男)どうもありがとうございます！
(問)郵便局はどこですか？

PARTE V (N 16 – N 18)

N 16　a　　【正答率】88.1%
F: Guarda che bel quadro ho trovato stamattina dall'antiquario! Non è fantastico? E l'ho pagato veramente poco!
M: Mmh, sì, bello. È un dipinto ad olio… Starebbe bene in salotto, sopra al divano, che ne dici?
F: Mah, veramente pensavo di metterlo in camera da letto, di fronte alla finestra.
M: Ma in camera da letto abbiamo già il poster che abbiamo portato dalla Spagna. È così bello…
F: Beh, quello lo puoi mettere nel tuo studio, no? E questo lo mettiamo in camera da letto.
M: D'accordo…
【訳】(女)見て、私が今朝骨董品店でどんなにきれいな絵を見つけたか！素晴らしいと思わない？　しかも私は本当に少ししか払わなかったのよ！(男)うん、そうだね、きれいだね。油絵か……。応接間が似合うんじゃないかな、ソファの上が。どう思う？(女)そうねえ、実のところ、私はこれを寝室

に、窓の正面にかけようと思っていたの。（男）でも寝室にはもう、僕たちがスペインから持ってきたポスターがあるよ。とてもきれいだし……。（女）あら、あれはあなたの書斎にかければいいじゃない？それでこれを寝室にかけるのよ。（男）分かったよ……。
結局彼らがこの絵をかけることに決めたのは：
a）寝室　b）応接間　c）書斎

PARTE VII (N 23 – N 26)

Primo ascolto (N 23 – N 24)

F: Tornano da questo mese, ogni sabato, le visite guidate al nostro museo. Il biglietto, del costo di 12 euro, dà diritto ad accedere anche alla mostra straordinaria dedicata al grande direttore della fotografia Daniele Nannuzzi, dove sono esposte fino alla fine di dicembre oltre 100 fotografie del maestro, scattate nei teatri e sui set di tutto il mondo.
【訳】（女）今月から、毎週土曜日に、ガイド付きツアーが当美術館に再登場します。価格12ユーロのチケットで、偉大な撮影監督ダニエーレ・ナンヌッツィを取り上げた特別展にも入場できます。そこでは12月末まで、世界中の劇場やセットで撮影された、100枚を超えるこの名匠の写真が展示されています。

N 23　a　　【正答率】73.1%
【訳】この同じチケットで写真展も 1 つ観ることができる

N 24　b　　【正答率】34.0%
【訳】その展覧会には世界中から 100 人の写真家が参加している

筆記

PARTE I (N 27 – N 48)

N 27　a　　【正答率】61.4%
【訳】私はいつも正午に昼食をとります。【解説】「～時に」は〈a ＋ 女性形の定冠詞 ＋ 数〉で表現し、1 時なら all'una、2 時以降なら alle due、alle tre となります。女性形の定冠詞は、「時間」を表す女性名詞の ora、ore を暗に示しています。しかし、男性名詞の mezzogiorno「正午、昼の 12 時」は、定冠詞を伴わず a mezzogiorno で「正午に、昼の 12 時に」を表現します。

N 28　a　　【正答率】39.0%
【訳】前の夏、私はローマを訪問しました。【解説】visitare「～を訪問する」は他動詞なので、訪問する対象が直接補語になります。よって、前置詞の付いていない a)が正解です。

N 29　d　　【正答率】82.7%
【訳】ジョヴァンニはどうしてこれほど怒っているのですか？【解説】「なぜ、どうして」と相手に理由を尋ねる疑問詞 perché を入れると自然な文意になるので、d)が正解です。なお、c) Come も、あとに mai をつけて〈come mai〉とすれば、理由を尋ねる表現になります。

N 30　c　　【正答率】28.7%
【訳】昨日の夜、私がシャワーを浴びている間に、停電しました。
【解説】〈essere sotto la doccia〉は「シャワーの下にいる」つまり「シャワーを浴びている」という意味を表します。また、接続詞 mentre「～する間、～している時」によって導かれる従属節は、主節と同時の継続した状態を表します。冒頭の ieri sera「昨日の夜」と主節の動詞の時制（直説法近過去）から過去の話であることが分かります。過去における継続した状態は直説法半過去を用いて表現するので、c) ero が正解です。

N 31　a　　【正答率】87.0%
【訳】毎日、私はすることがたくさんあります。【解説】不定形容詞 ogni は後ろに単数の名詞を伴って、「どの～も、あらゆる～」を意味します。単数の男性名詞 giorno に付けて ogni giorno とすると、「毎日」を意味し、文脈に合うので、a)が正解です。b) Qualcuno は不定代名詞、c) Sempre は副詞であるため、あとに名詞を伴えません。「全ての～」を意味する不定形容詞 tutto は、後ろに定冠詞と名詞を伴いますが、ここでは定冠詞がないので不適切です（なお、tutto il giorno となっていた場合の意味は「一日中」で

す)。

PARTE II (N 49 – N 55)

N 52/53
【訳】「私はステーキをいただきます。ウェルダンでお願いします」「かしこまりました。お飲み物は？」「生ビールにします」
N 52　c　　【正答率】46.1%
【解説】選択肢はそれぞれ bollire「沸かす、煮る」、bruciare「焼く、焦がす」、cuocere「(食べ物を)煮る、焼く」、friggere「炒める、揚げる」の過去分詞に由来する形容詞です。肉の焼き具合については cotto を用いて表すので、c)が正解です。
N 53　c　　【正答率】36.2%
【解説】樽から注ぐ生ビールは、birra alla spinaと表現するので、c)が正解です。spinaはもともと「とげ」という意味で、細長い形をした「樽の注ぎ口」を表します。なお、ビールの泡はspuma della birraと言います。

N 54/55
【訳】エリーザは、上手に泳げないので、スイミングのレッスンに登録しました。
N 54　a　　【正答率】74.0%
【解説】a) un corso「一つの講座、コース」、b) una corsa「走ること、一走り」、c) un posto「一つの場所、席」、d) una posta「一つの郵便物」のうち、si è iscritta「登録[入会]した」という文脈に合うのは、a)です。
N 55　d　　【正答率】70.1%
【解説】選択肢のうち、その後に動詞の不定詞を伴って「～する仕方を知っている、～できる」を意味するのは、sapere を 3 人称単数に活用した sa ですから、d)が適切です。riuscire はその後に動詞の不定詞を伴うとき、前置詞 a が必要であり、同じ「～できる」でも「～に成功する」といった意味なので、c)は不適切です。

PARTE III (N 56 – N 62)

【訳】それが生み出されたのは 1959 年、アーティストのマリーア・ペーレゴによってで、その最初の声はドメニコ・モドゥーニョ、カンツォーネ『ヴォラーレ』の有名な歌い手のものでした。誰のことでしょう？ もちろんトーポ・ジージョです。世界一有名なイタリアの小さなネズミです！

その巨大な耳と大きな歯、青い目と金色の髪、動きもしぐさもあんなに人間っぽいその容姿で、テレビに初登場した時から、トーポ・ジージョは絶大な成功を収めました。実際、彼はテレビのショー番組のゲストにとどまらず、アニメや漫画の主人公、コマーシャルのイメージキャラクター、それにあるサッカーチームのマスコットでもありました。この世のすべてのネズミたち同様、彼もチーズが大好きで猫をとても怖がっています。しかし、他のネズミたちと違い、彼は美女たちの耳に甘い言葉を語るのも好きです。彼の多大な成功はおそらく、まさに彼のこのこんなにもロマンチックな性格によるものでしょう。その独特な声とその優しいふるまいは何世代にもわたって子供のみならず大人をも魅了し、彼はほぼ全世界、とりわけヨーロッパ、アメリカ合衆国、それに南米の多くの国々でテレビに出演してきました。

1966 年には「トッポ・ジージョ」の名で日本にも登場し、ここではその翌年、市川昆監督の映画の 1 本で主役をも務めました。そのため日本人の間でも彼が多用する「マンマ・ミーア！」という驚き声ともども人気となりました。テレビがまだ白黒だった頃に誕生したこの愉快なキャラクターは現在もなお、世界におけるイタリアの創造性の一つの象徴として、広く愛されています。

N 56　b　　【正答率】51.2%
【訳】トーポ・ジージョは最初に『ヴォラーレ』を歌った

N 57　a　　【正答率】90.9%
【訳】彼は金髪で青い目をしている

N 58　b　　【正答率】87.0%
【訳】彼はサッカーゲームが好きではない